

クリエイティブリユース —廃材・端材からはじまる世界—

[会期] 2021年3月10日（水）－8月29日（日）

前期：3月10日－6月13日

後期：6月16日－8月29日

[会場] 高島屋史料館TOKYO 4階展示室

[監修] 大月ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー）

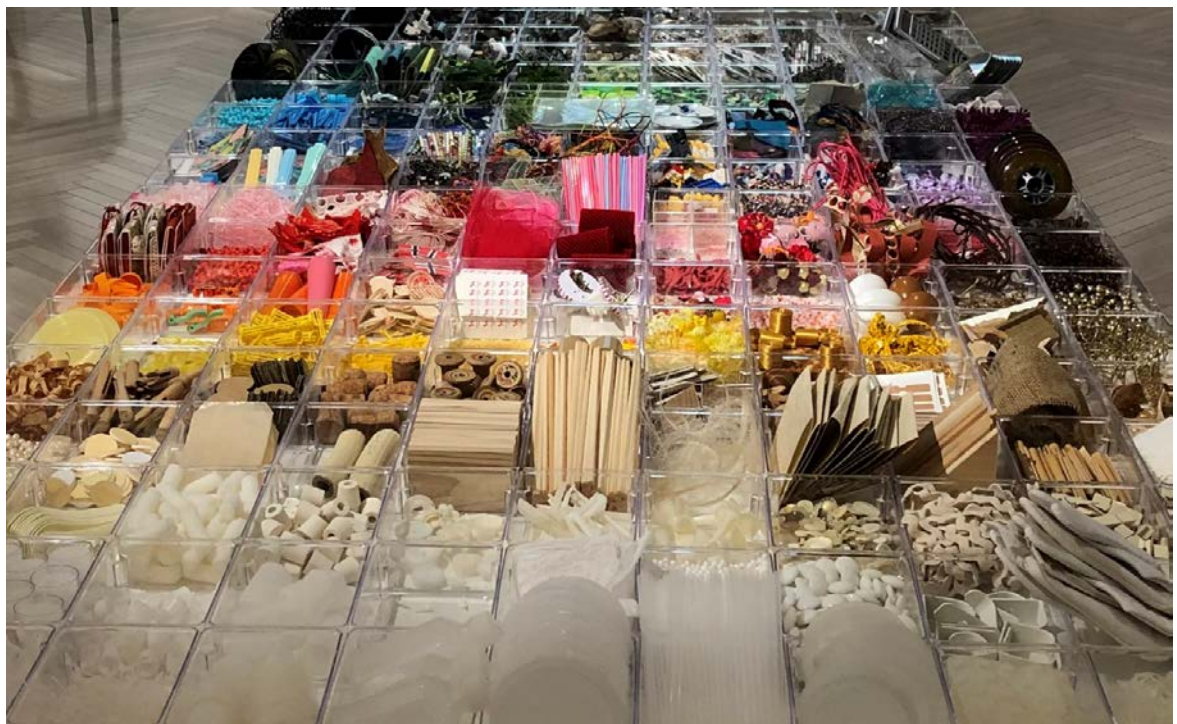
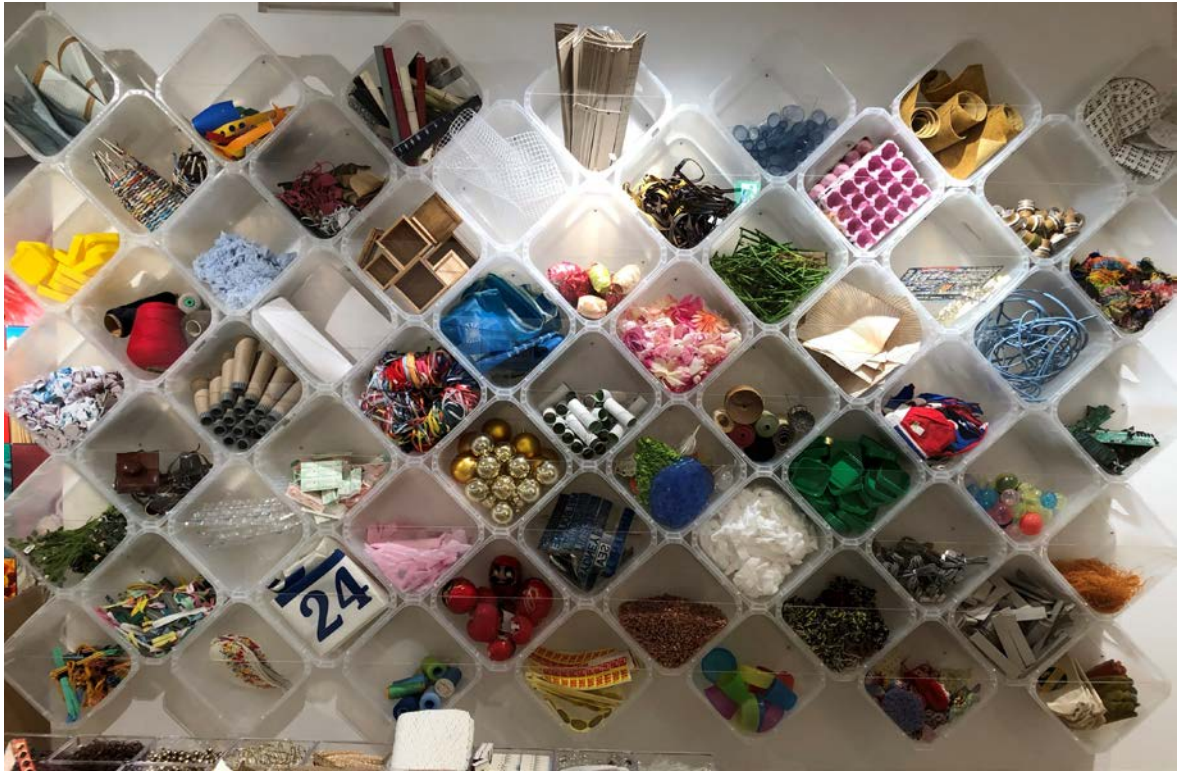


■会場風景

不要なモノとして捨てられそうになった廃材・端材を、色や素材別に丁寧に分類・整理すると、ある時を境に「マテリアル＝素材」としか見えなくなる瞬間がやってきます。そうすればしめたもの。それらをよく観察すると、新しい活かし方が思い浮かびます。不必要と思われたモノが、暮らしを豊かにする魅力的なモノに生まれ変わります。

本展では、倉敷市玉島の古民家を改装して国内初のクリエイティブリユースの拠点IDEA R LABを開設し、活動を行っている大月ヒロ子氏の監修のもとに、クリエイティブリユースの活動の一端を紹介します。前期の展示では、素材に生まれ変わった廃材や端材とともに、それらを使って作られたプロダクトを展示し、後期の展示ではクリエイターの作品を紹介しました。

《前期後期共通展示》



■展示風景

- 上) 分類・整理されて「マテリアル」になった廃材・端材
- 下) 色別に分類された「マテリアル」



■展示風景

上) マテリアルとなった廃材・端材を撮影した写真

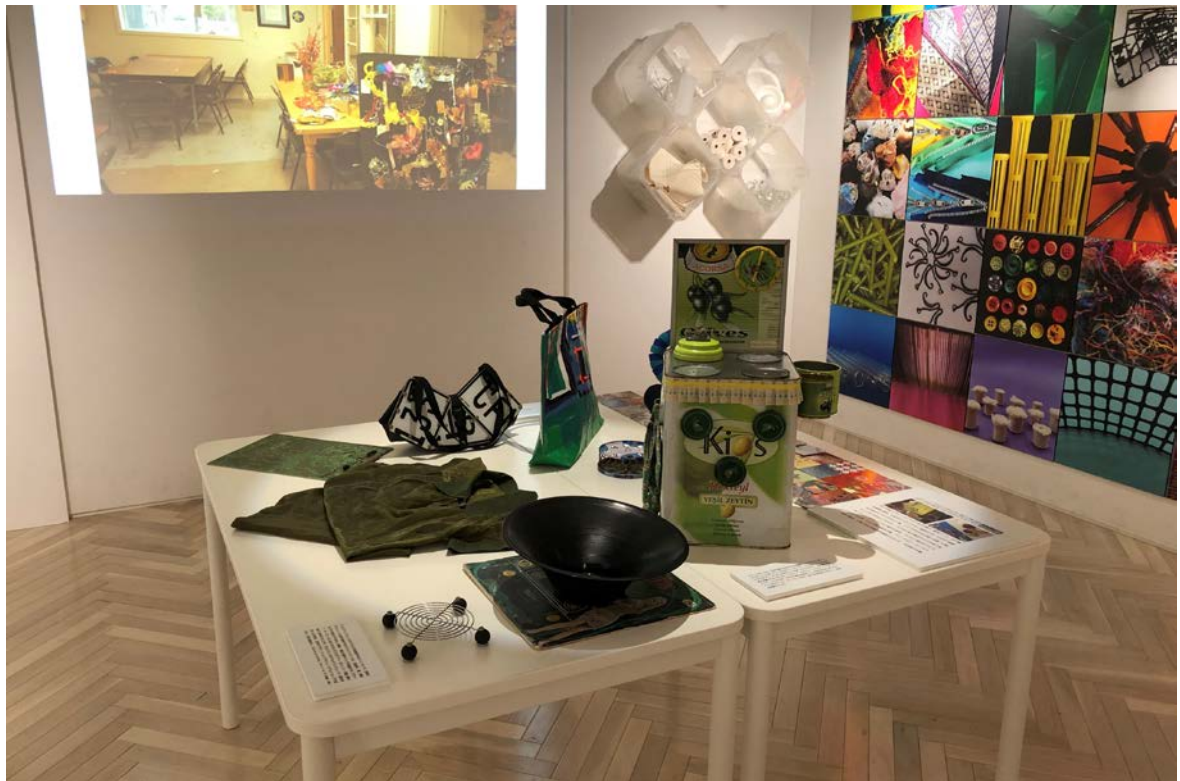
下) 展示パネル「廃材と循環するモノ・コト・ヒト」「クリエイティブリユースを軸としたまちづくり」

《前期展示》



■ 展示風景

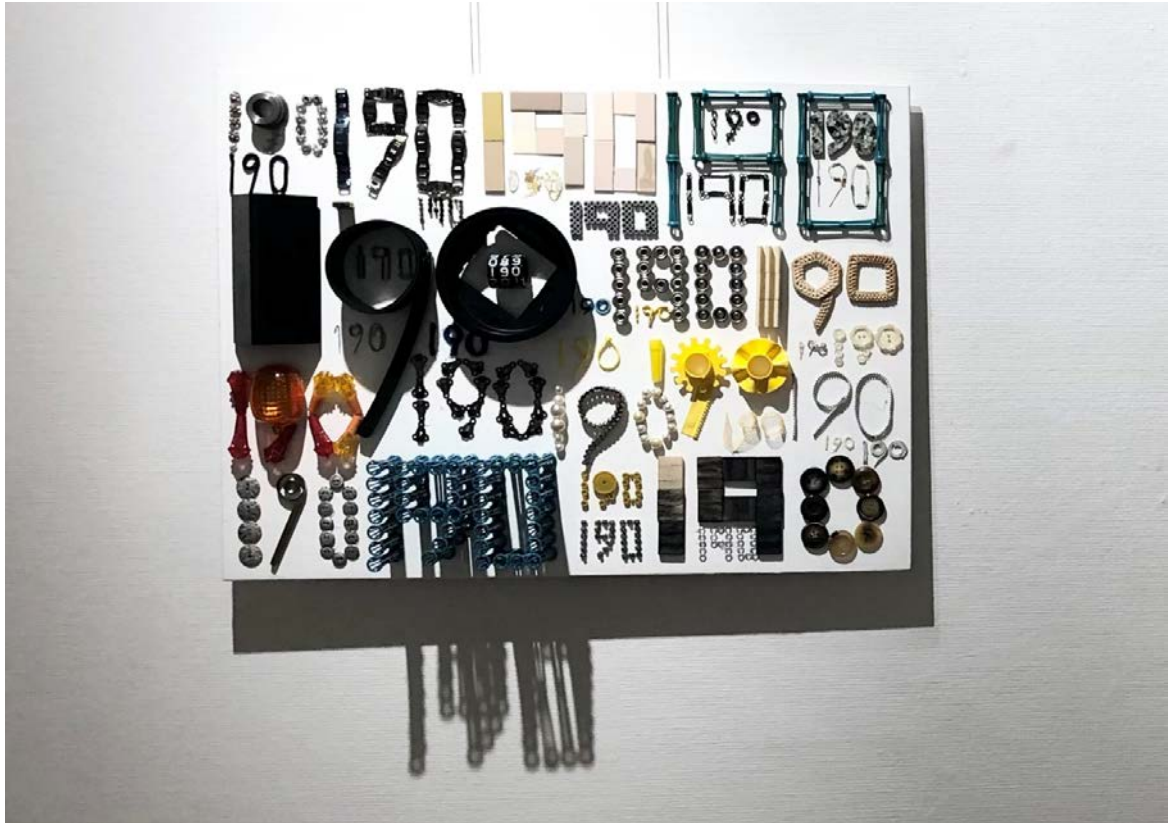
- 上) 業務用の卵ケースを用いたランプシェードと素材の卵ケース
- 下) マテリアルを白と黒の色別に集めた展示



■展示風景

大月ヒロ子氏が国内外で収集したクリエイティブリユースのプロダクトや、大月氏のIDEA R LABに集められた廃材や端材とそれらから作られたプロダクトを展示しました。

《後期展示》



■展示風景

上) 大月ヒロ子氏作品「高島屋創業190周年に」

下) 宮田明日鹿氏作品「手工3D印字机 ～馬毛編～」 (左)

ウームプロカント作品「Clock」他 (右)



■ 展示風景

- 上) 富田菜摘氏作品「桃代」「駿太郎」(壁面左)
- サイネンショー作品「サイネンショー」(壁面中央、テーブル)
- 下) Kakara Woolworks 作品 [nothing] (壁面)
- 川埜龍三氏作品「マチヲ式モンタージュ」(テーブル奥)